

NEWS LETTER

人生100年時代 今こそ生涯学習

No.5 令和4年9月27日(火)

新潟県立生涯学習推進センター

ソサイエティ

Society 5.0



先回引き続き研修で耳にした語句を紹介します。第2弾です。

右の図のように人類がこれまで歩んできた社会を、狩猟

社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会

(Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) といいます。そして第5の新たな社会を、デジタル革新、イノベーションを最大限活用して実現するという意味で「Society 5.0 (ソサイエティ5.0)」と名付けられています。

Society 5.0 で実現する社会は、IoT (Internet of Things) で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これらの課題や困難を克服します。また、人工知能 (AI) により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されます。社会の変革 (イノベーション) を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合あえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会となります。

これまでの社会では、経済や組織といったシステムが優先され、個々の能力などに応じて個人が受けるモノやサービスに格差が生じている面がありました。Society 5.0 では、ビッグデータを踏まえた AI やロボットが今まで人間が行っていた作業や調整を代行・支援するため、日々の煩雑で不得手な作業などから解放され、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができるようになります。

これは一人一人の人間が中心となる社会であり、決して AI やロボットに支配され、監視されるような未来ではありません。また、我が国のみならず世界の様々な課題の解決にも通じるもので、国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)の達成にも通じるものです。 ※内閣府 HP「Society 5.0 で実現する社会」より引用



例えば... 例えばテレビCMなどで耳にすることが多くなってきた5G (ファイブジー) や、これから実用化が進むであろう自動車の自動運転やドローンによる配達などは、まさしく Society 5.0 の流れの一つです。

また、ずいぶんと浸透してきたのがQRコード決済 (キャッシュレス決済) ではないでしょうか。

最近では、右のようなQRコードを提示し、支払いをしている人をスーパーなどでも見かけるようになってきました。小銭を出さなくとも簡単に支払ったり、お店の予約やアンケートの入力など、あらゆる場面でQRコードを使う機会が増えてきたように思います。



※ちなみに右のQRコードは当センターのHPラ・ラ・ネットにつながります。お試しあれ!



◎ オックスフォード大学所属のマイケル・A・オズボーン博士らが2014年に発表した論文『雇用の未来 (The Future of Employment)』によると、20年後までに人類の仕事の約5割がAIないしは機械によって代替され、消滅すると予測されています。この論文は世界中で読まれ、AIが人間の仕事を代替することの認知を広めました。AI技術の進歩によって代替されると予想される仕事として、一般事務員、銀行員、警備員、建設作業員、スーパー・コンビニ店員、タクシー運転手、電車運転士、ライター、集金人、ホテル客室係・ホテルのフロントマン、工場勤務者などといわれています。